

《 2022 年度 社会貢献事業 》

(1) 公開講座の実施

1976 年に開講した土曜教養講座は、2022 年度で 47 年目を迎えました。

本講座は、沖縄大学地域研究所所員はじめ特別研究員や地域諸団体との共同研究の成果を地域に発表する場として長年実施してきました。また、時宜に適ったテーマでシンポジウムや講演会を企画し、地域における教養講座の役割も果たしてきました。

2022 年度も、地域研究所共同研究班の研究成果や学科の特色を活かした講座を中心に、包括連携協力協定を締結している諸団体等との共同企画も含め多様な公開講座を実施しました。

土曜教養講座 (15 回開催)

	開催日	内容	申込	参加
1	4 月 16 日 (土)	【オンライン】第 583 回土曜教養講座 「NPO のもつ社会的活用可能性と今後の課題」 【司会】春田吉備彦 (沖縄大学経法商学部教授) 【講師】滝原啓允 (労働政策研究・研修機構研究員 川津知大 (のぞみ法律事務所弁護士) 渋谷典子 (特定非営利活動法人参画プラネット代表理事、 愛知大学・中京大学・日本福祉大学非常勤講師)	29 名	28 名
2	6 月 18 日 (土)	【オンライン】第 584 回土曜教養講座 「沖縄を舞台にした国際私法上の交錯を解き明かす」 【司会】谷口 友一 (沖縄大学経法商学科講師) 【講師】春田 吉備彦 (沖縄大学経法商学科教授) 井川 志郎 (山口大学准教授) 金 美和 (青森中央学院大学教授)	14 名	11 名
3	7 月 16 日 (土)	【オンライン】第 585 回土曜教養講座 「女たちの『復帰』50 年企画① 沖縄の女性の人権」 【司会】宮城公子 (沖縄大学国際コミュニケーション学科教授) 【講師】高良沙哉 (沖縄大学福祉文化学科教授) 高里鈴代 (元那覇市議会議員)	86 名	58 名
4	7 月 30 日 (土)	【オンライン】第 586 回土曜教養講座 「子どもの貧困問題と母子世帯の居住貧困を考える」 【司会】島村聡 (沖縄大学福祉文化学科教授) 【講師】黒田華 (琉球新報広告事業局 OKINAWA SDGs プロジェクト事務局) 葛西リサ (追手門学院大学准教授) 山野良一 (沖縄大学福祉文化学科教授)	110 名	80 名
5	9 月 24 日 (土)	【オンライン】第 587 回土曜教養講座 「女たちの『復帰』50 年② 沖縄政治・社会と女性たち」 【司会】高良 沙哉 (沖縄大学 福祉文化学科 教授) 【講師】比嘉 京子 (沖縄県議会議員) 謝花 直美 (沖縄タイムス 記者/ 沖縄大学地域研究所 特別研究員)	109 名	70 名
6	10 月 1 日 (土)	【オンライン】第 588 回土曜教養講座 「『沖縄子ども白書』にみる希望と宣言」 【司会】島村 聡 (沖縄大学 福祉文化学科 教授) 【講師】山城 康代 (一般社団法人りあん 代表理事) 北上田 源 (琉球大学 教育学部 准教授)	84 名	69 名

7	10月8日 (土)	<p>【オンライン】第589回土曜教養講座 「米軍人の公務外不法行為とSACO見舞金不支給事件」</p> <p>【司会】 春田 吉備彦 (沖縄大学 経法商学科 教授)</p> <p>【講師】 日高 洋一郎 (コザ法律事務所 弁護士) 三谷 晋 (岐阜大学 地域科学部 准教授)</p>	17名	16名
8	10月22日 (土)	<p>【オンライン】第590回土曜教養講座 「沖縄で文学することー沖縄文学の過去・現在・未来ー」</p> <p>【司会】 浜川 智久仁 (沖縄大学 図書館 職員)</p> <p>【講師】 大城 貞俊 (作家・元琉球大学教授) 當山 陽子 (小説) トーマ・ヒロコ (詩) 屋良 健一郎 (短歌) 安里 琉太 (俳句)</p>	55名	47名
9	11月5日 (土)	<p>【オンライン】第591回土曜教養講座 「ミャンマーって国をご存じですか？」</p> <p>【司会】 山代 寛 (沖縄大学 学長/健康栄養学部教授)</p> <p>【講師】 松本 敏秀 (歯科医師) トゥー・ヤ・ソー (在沖縄ミャンマー人会事務局長)</p>	41名	30名
10	11月12日 (土)	<p>【オンライン】第592回土曜教養講座 「生活・人生の『語り』を紡ぐ『聞き書き』のもつ可能性を探る」</p> <p>【司会】 玉木 千賀子 (沖縄大学 福祉文化学科 教授)</p> <p>【講師】 小田 豊二 (聞き書き作家) 酒井 成美 (ひまわり医療生協ひまわり聞き書き隊)</p>	97名	78名
11	12月3日 (土)	<p>【対面】第593回土曜教養講座 「アイヌ芸術家の語る先住民族の想いーアイヌモシリと核のごみ問題よりー」</p> <p>【司会】 宮城 公子 (沖縄大学 人文学部 教授)</p> <p>【講師】 吉井 美知子 (沖縄大学 人文学部 教授) 藤戸 康平 (アイヌ彫刻家) 山本 栄子 (歌手) 床 みどり (歌手)</p>	103名	82名
12	2023年 2月18日 (土)	<p>【オンライン】第594回土曜教養講座 「ケアリング・コミュニティの再発見ー足元にある“支え合い”の芽ー」</p> <p>【司会】 上地 武昭 (沖縄大学名誉教授)</p> <p>【講師】 越智 和子 (香川県琴平町社会福祉協議会) 仲嶺 茜 (浦添市社会福祉協議会) 玉城 十七美 (西原町社会福祉協議会) 玉木 千賀子 (沖縄大学福祉文化学科教授) 屋嘉比 和枝 (地域研究所特別研究員) ※フロア討論のみ参加</p>	90名	60名
13	2月25日 (土)	<p>【オンライン】第595回土曜教養講座 「部活動の地域移行を考える」</p> <p>【司会】 嘉数 健悟 (沖縄大学福祉文化学科教授)</p> <p>【講師】 石塚 大輔 (スポーツデータバンク沖縄株) 上地 幸市 (沖縄大学客員教授) 中山 健二郎 (沖縄大学福祉文化学科准教授)</p>	52名	38名
14		<p>【対面】第596回土曜教養講座</p>	59名	46名

	3月4日 (土)	「沖縄大学人文学部国際コミュニケーション学科宮城公子教授 最終講義：ジェンダー、異文化、そして平和を考えるーこれまで とこれからー」 【司会】 伊藤丈志(沖縄大学人文学部国際コミュニケーション学科准教授) 【講師】 宮城公子(沖縄大学人文学部国際コミュニケーション学科教授)		
15	3月18日 (土)	【オンライン】第597回土曜教養講座 「子どもの権利を守る： 子どもたちの抱える課題をスクールソーシャルワークの視点で考 える」 【司会】 名城 健二(沖縄大学福祉文化学科教授/ 沖縄大学大学院現代沖縄研究科科長) 【講師】 松田 孝(那覇市立寄宮中学校校長) 知念 恵美子(那覇市教育委員会子ども寄添主任支援員 ・スクールソーシャルワーカー/沖縄大学大学院修了 生)	88名	64名

まーいまーい Naha・沖縄大学連携講座 (3回開催)

	開催日	テーマ	申込	参加
1	11月30日 (水)	【対面】国際コミュニケーションってなんだろう？ 【講師】 伊藤 丈志(国際コミュニケーション学科 准教授)	7名	4名
2	12月15日 (木)	【対面】語学力を活かした職業 【講師】 伊藤 丈志(国際コミュニケーション学科 准教授)	24名	19名
3	2月8日 (水)	【対面】生活習慣のモニタリングから始める「健康づくり」 【講師】 嘉数 健吾(人文学部 福祉文化学科 教授)	8名	7名

●「地域研究」「地域教育」「地域連携・貢献」による大学の特色化

本学は「沖縄型福祉社会の共創 - ユイマールを社会的包摂へ -」（私立大学研究ブランディング事業<2016-2018>）のテーマで特色化を進めてきました。同事業を経て、沖縄の子どもの貧困問題の解決に向けた取組みを展開しています。

沖縄の子どもの貧困問題に関わる研究

	分野	事業種	内容	主担当
1	地域研究	全学研究プロジェクト	地域の健康・栄養課題改善における実践、支援法のスキルの検討ーライフステージにおける子どもの相対的貧困と食環境・食生活・社会環境との関連に関する研究：(2) 幼児期	逸見幾代 (健康栄養学部教授)
2	地域研究	共同研究	子どもの食自立支援に関する研究 子ども食堂における調理実習共同開催と沖大食育レシピの有効性検証	逸見幾代 (健康栄養学部教授)
3	地域研究	科学研究費助成研究	基礎自治体における子どもの貧困対策の現状と課題に関する総合的研究	山野良二 (人文学部教授)
4	地域研究	科学研究費助成研究	子どもの貧困と地域特性の関連の研究	【研究分担者】 山野良二 (人文学部教授)

沖縄の子どもの貧困問題に関わる教育

	分野	事業種	内容	主担当
1	地域教育	土曜教養講座	子どもの貧困問題と母子世帯の居住貧困を考える	島村聡（人文学部教授）
2	地域教育	土曜教養講座	『沖縄子ども白書』にみる希望と宣言	島村聡（人文学部教授）
3	地域教育	土曜教養講座	子どもの権利を守る：子どもたちの抱える課題をスクールソーシャルワークの視点で考える	名城健二（人文学部教授）

沖縄の子どもの貧困問題に関わる地域連携

	分野	事業種	内容	主担当
1	地域連携	委託事業	子どもの貧困ソーシャルワーク研修（那覇市、豊見城市、糸満市）	島村聡（人文学部教授）
2	地域連携	委託事業	沖縄県ヤングケアラー関係機関職員研修事業	名城健二（人文学部教授）

(3) 「出前講座・体験授業」の実施

沖縄大学では、地域貢献の一環として多様な学習機会の一助となるよう、小学校・中学校・高校への「出前講座・体験授業」の実施をしています。

「出前講座・出前授業」（小学生・中学生・高校生向け講座） 開催講座数：33 講座

	開催日	実施高校	講座名	担当講師
1	4月26日	青森県立大間高等学校	語学力を活かした職業（英語キャリア）	伊藤 丈志
2	5月17日	首里東高校	目標を達成するには、コツがある！	石原 端子
3	5月17日	高嶺中学校	SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）を体験しよう	名城 健二
4	5月18日	陽明高校	会社という仕組み	谷口 友一
5	6月10日	具志川高校	SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）を体験しよう	名城 健二
6	6月22日	泊高校夜間部	「平和」を考える	宮城 能彦
7	6月24日	陽明高校	目標を達成するには、コツがある！	石原 端子
8	7月8日	沖縄市立島袋小学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛
9	7月12日	高嶺中学校	SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）を体験しよう	名城 健二
10	7月22日	宜野座高校	どうして勉強しなくてはいけないの	宮城 能彦
11	7月25日	真和志高校	ベトナムのストリートチルドレン—どんな子どもたち？—	吉井 美知子
12	7月29日	首里東高校	目標を達成するには、コツがある！	石原 端子
13	8月1日	真和志高校	困っている人を支える専門職を知ろう	平野 貴大

14	8月22日	首里東高校	目標を達成するには、コツがある！	石原 端子
15	9月13日	中部農林高校	働くという事	春田 吉備彦
16	9月20日	中部農林高校	ブラックバイトと高校生・大学生	春田 吉備彦
17	9月20日	具志川商業高校	お互いの「強み」を伝えあってみよう	吉川麻衣子
18	9月20日	那覇工業高校 定時制課程	SST (ソーシャル・スキルズ・トレーニング) を体験しよう	名城 健二
19	10月18日	中部農林高校	障がい者スポーツの世界	中山 健二郎
20	11月1日	中部農林高校	身近な情報モラル	金城 秀樹
21	11月2日	豊見城高校	2045年の私たちの働き方とAI(人工知能)	春田 吉備彦
22	11月7日	中部農林高校	ベトナムのストリートチルドレンーどんな子どもたち？ー	吉井 美知子
23	11月16日	北中城高校	18歳で成人！どうなるの！？	岩垣 真人
24	11月22日	つくば開成国際高等学校	英語のTV コマーシャルから異文化社会を考える	伊藤 丈志
25	12月7日	久米島高校	何のために働くの？	宮城 能彦
26	12月9日	糸満市立西崎小学校	生活習慣全般	山代 寛
27	12月15日	宮古高校	何のために働くの？	宮城 能彦
28	12月15日	宮古高校	1人の命を犠牲にして5人の命を助けていい？！	富山 侑美
29	12月19日	首里東高校	2045年の私たちの働き方とAI(人工知能)	春田 吉備彦
30	12月21日	久米島高校	働くということ	春田 吉備彦
31	12月21日	泊高校夜間部	何のために働くの？	宮城 能彦
32	12月21日	那覇商業高校	「日本的」な働き方・働かせ方って？	石川 公彦
33	2月7日	石垣市立明石小学校	VRから学ぶ中国語超入門	渡邊 ゆきこ

(4) 地域住民への図書の貸し出し

地域住民が利用する公共図書館に目的の資料がなく、その資料が沖縄大学図書館にある場合、公共図書館を通じて地域住民への資料の貸し出しを行っています。

2022年実績

	依頼日	依頼館
1	4月28日	宜野湾市立図書館
2	6月14日	沖縄県立図書館
3	8月26日	浦添市立図書館
4	9月13日	沖縄県立図書館

5	9月13日	沖縄県立図書館
6	11月2日	沖縄県立図書館
7	11月30日	沖縄県立図書館
8	12月1日	沖縄県立図書館
9	3月7日	沖縄県立図書館
10	3月13日	宜野湾市立図書館
11	3月28日	浦添市立図書館

(5) 講師の派遣

沖縄大学では、教員を自治体等へ委嘱委員、講師として派遣しています。政策形成への寄与、知の還元等により地域社会への貢献を行っています。

2022年度 学外委員・講師等の派遣数

学科	教員数	派遣教員数	短期派遣	中・長期派遣	合計
経法商学科	25	10	3	15	18
国際コミュニケーション学科	12	6	5	2	7
福祉文化学科	16	7	43	12	55
こども文化学科	9	4	7	4	11
管理栄養学科（助手含）	17	8	11	9	20
その他（事務局参与等）		7	5	3	8
合計	79	42	74	45	119

(6) 那覇市議会報告会の開催

2017年度から毎年度開催してきた那覇市議会報告会および市民との意見交換会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、しばらくの間、実施を見送ってきましたが、11月15日（火）に開催し、約20名の参加がありました。議員のかたがたが直接、市内各地（4会場）に出向き開催している同報告会について、学生や教職員、近隣市民に議会や市政に対する関心を喚起していく趣旨に沿い、今後とも那覇市議会議員と意見交換ができる場を提供できるよう取り組みます。

(7) 期日前投票（中止）

選挙の期日前投票会場を学内に設置（本館多目的教室）してきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学内実施はありませんでした。学生、教職員や近隣住民のかたがたの投票を促すだけでなく、学生が選挙スタッフとして関わることで主権者教育の一環となってきたため、今後とも期日前投票会場が学内に設置できるよう努めてまいります。